

一 ねらい

郷土の先人の努力や働くことの大切さを知り、進んで働くようにする。

4 | (2)

二 資料について

- (一) 出典 「あゆかわの民話」(大塔村立鮎川小学校PTA編)
- (二) 対象学年 第三学年または第四学年

三 展開の主要例

- 「……きつと用水路を作ってみせる。」と、決心したときの重太夫の気持ち。
- 村人たちから、冷たい目で見られながらも「何くそ、このくらいのこと鼻くそや。」と言
い、一人で仕事を続ける重太夫の気持ち。
- 清い水が注ぎこんできたとき、涙を浮かべながら人びとに笑みを送っている重太夫の気
持ち。
- 重太夫の功績をほめちぎる人びとに、「何の、鼻くそ。」とつぶやく重太夫の気持ち。
- 重太夫の努力や働きが、その後、村人の暮らしや村をどう変えていったかを考える。

四 その他

・参考資料：「大塔村史」

(※大塔村は、現在の田辺市)